

QOL健診 国越え学ぶ

た」と手応えを語った。市民レベルの国際協力を推進する国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」の一環。「行は15日から約1週間滞在し、青森市や弘前市などで関係機関を視察する。



QOL健診で歩幅を測るベトナムの医療関係者

ベトナム医師ら

一日のうちに測定、結果判定、健康指導を行う弘前大学の「QOL健診（啓発型健診）」について学ぶため、ベトナムから8人の医療関係者が本県を訪れている。20日、一行は弘前大学院医学研究科の中路重之特任教授の指導の下、弘大で健診を体験。ベトナムでの活用に向けて、健診の手順やポイントを確認した。（伊藤ほなみ）

弘大で6項目体験

訪れたのは、ベトナムハイフォン市疾病管理センターの医師ら。専用の機械に手のひらを当てて推定野菜摂取量を測る「ベジチェック」や、歩幅を測る「2ステップテスト」など6項目を体験し、その場で中路特任教授が実演する健康指導を受けた。

ドン・チュン・キエン副センター長は「ベトナムに

も健診はあるが、結果がすぐに分からず興味を持たない人も多い。国民の健康のためにも学んだことを持ち帰りたい」と話した。

中路特任教授は「これは生活を変えるための健診で、一人一人が知識を付ける健康教育。楽しそうな様子を見て、ベトナムでも普及する可能性があると感じ